



しくじりから得た 企業の取組

有限会社 織笠工業
折笠佑也



会社概要

会社名 有限会社織笠工業

設立 1993年4月

従業員数 30人

所在地 名古屋市南区豊田3丁目17番19号

事業内容

愛知県内を中心に鍛冶工事・鳶工事を専門に行っています。

機械器具設置工事から重量物据付工事など各種プラント工事にも幅広く対応しています。また近年は、自動車販売整備事業・

ITソリューション事業・プロデュース事業も始めています。

外国人在受入れ状況

建設事業では6年前から、ミャンマーから外国人技能実習生を受け入れています。

現在も4人の実習生が在籍。弊社では、スーパーバイザーが、実習生への日本語教育を担当しています。

「単に日本語を教えるだけではなく、日本の文化・歴史、日本人の生活や働き方をしっかり理解できるようにすることが重要」であると考えています。

ロールプレイングやワークショップを活用し、建設業で働くこと、地域で生活することを教え、実習が始まってからのメンタルケアなども行っています。

1. 外国人技能実習生受け入れの背景とその重要性
2. 1期生の成功
3. 2期生のトラブル
4. 課題解決のための具体的な取組



□ 送り出し機関との連携

1. 現地で面接
2. 現地で実技試験
3. 送り出し機関のサポート体制の確認

□生活環境の整備

1. 自社寮
2. サポート体制の確立
 - ・生活サポート
 - ・メンタルケア他



教育プログラムの組立

1. 入国前講習（ステップⅠ）
2. 職場配属前講習（ステップⅡ）
3. 現場配属後研修（ステップⅢ）



おりかさこうぎょう「こうどう/ししん（やくそく）」	
◎ぐたいてきな/こうどうの/ししん（ほうほう）	
○ <u>じぶんから/すすんで/あいさつをする</u>	
・にんげんかんけいや/しごとを/えんかつにし/しごとにたいするしせいを/つたえることができる。	
○ <u>5Sの/てってい</u>	
・SEIRI（せいり）/SEITON（せいとん）/SEISOU（せいそう） SEIKETU（せいけつ）/SHITSUKE（しつけ）	
○ <u>ものを/たいせつに/あつかう</u>	
・かいしゃや/きやくからの/かりたものを/よごしたり/こわしたりせず/てきせつに/ほかん/かんりする/ことは/かいしゃや/きやくとの/かんけいを/つくることことができる。	
・しごとの/ムダをなくすことことができる。	

ステップⅠ（入国前教育）

(1) 現場で使う建設工具一覧を使用し、事前学習をしてくるよう指示した。

(2) 生活する環境（寮）や職場を含め、会社の概要が理解できる資料を使用し、事前学習をしてくるよう指示した。

(3) 毎日、日記を書き、写真で送るよう指示した。

現場で使う建設工具一覧



えすかん
S管



ばいおらんでーふ
バイオランテープ
50mm、100mmと幅がちがうのがある



ちりとり



ほうき



れしーばー
レシーバー



きやつ
脚立



さんそげーじ
酸素ゲージ
Oxygen gauge



あせちれんげーじ
アセチレンゲージ
Acetylene gauge



右が酸素ポンベ
左がアセチレンポンベ



ポンベハンドル
げんばでは『コック』ということもある



ガスホース
あおいろが酸素
あかいろがアセチレン



ばいふだいしゃ
バイク台車



れいぼーごるつ
レバーブロック



ながしやくる
長シャックル



シャックル



ワイヤーロープ



いーぐるくらんぶ
イーグルクランプ



ベビーホイスト



ほんどりふと
ハンドリフト



ばんぎ
番木
バタ角(ばたかく)と読んだりも
する



ちよこつくらんぶ
直交クランプ



てつこつくらんぶ
鉄骨クランプ



メッシュ

ステップII (職場配属前研修 2週間)

曜日	午前		午後	
	前半	後半	前半	後半
月	配布物等の説明、織笠工業企業理念・行動指針	日本語研修；発話練習	日本語研修	雇入れ教育
火	日本語研修；日記より	日本語研修；建設現場用語・指示語彙・発話練習	日本語研修	雇入れ教育
水	日本語研修；日記より	日本語研修；建設現場用語・指示語彙・発話練習	日本語研修	特別教育
木	日本語研修；日記より	日本語研修；建設現場用語・指示語彙・発話練習	日本語研修	特別教育
金	日本語研修；日記より	安全衛生教育研修；ロールプレイング	安全衛生教育研修	特別教育
月	日本語研修；日記より	安全衛生教育研修；ロールプレイング	安全衛生教育研修	送出し教育
火	日本語研修；日記より	安全衛生教育研修；ロールプレイング	安全衛生教育研修	送出し教育
水	日本語研修；日記より	日本文化・生活研修；日本の習慣・マナー	日本文化・生活研修	送出し教育
木	日本語研修；日記より	日本文化・生活研修；日本の習慣・マナー	日本文化・生活研修	
金	日本語研修；日記より	個人面談・振り返り	個人面談・振り返り	

職場配属前研修の内容

1. 日本語研修

- ・各自の日記を使用し、発話や語彙をグループワークによって学習する。

2. 安全衛生教育

- ・建設現場における特有の用語や指示語彙・緊急時の対応などロールプレイングを用いて学習する。

3. 日本文化・生活研修

- ・日本の習慣・マナー（挨拶などの日常会話）を学習する。
- ・日本文化について学習する。
- ・職場におけるコミュニケーションの取り方について学習する。

4. 仕事の実習

- ・工具の用語及び使用方法を研修する。
- ・番線の締め方などの実習を行う。

ステップⅢ （現場配属後研修 その1）

1. 期間：半年間（週に2回）

- (1) 日本語の勉強
- (2) 仕事の勉強
- (3) 面談

2. 目的

- (1) 日常生活及び現場の用語習得
- (2) 現場の振り返り
- (3) メンタルケア



ステップⅢ （現場配属後研修 その2）

1. 期間：「現場配属後研修その1」後、半年間（週に1回）

- （1）面談
- （2）仕事の復習と応用学習
- （3）技能実習第1号修得のための勉強

2. 目的

- （1）メンタルケア（10N1面談）
- （2）現場の振り返り
- （3）日本語能力試験の取得

メンタルケア例

(面談より)

面談内容

1. 仕事について

・ 仕事内容の理解度: 現在の仕事内容をきちんと理解しているか、言葉の壁や技術的な問題はないかを確認する。

「今の仕事内容で、わからないことや難しいことはありますか？」

まだまだ分からないことが多くて、毎日が大変。

「作業で、改善してほしい点がありますか？」

特にない。

・ 仕事の進捗状況: 目標や計画に対して、どの程度進捗しているか、遅れがあればその原因を把握する。

「仕事は順調に進んでいますか？」

よくわからない。

「何か困っていることがあれば教えてください。」

わからないことは、みんなに聞いているので大丈夫。

・ 職場環境への適応: 作業環境や設備、周りの日本人従業員とのコミュニケーションはうまくいっているかを確認する。

「職場の雰囲気はどうですか？」

みんなやさしい。

「周りの人とコミュニケーションはとれていますか？」

日本語がわかりやすいことが多いので、自分から話をするのはあまりできない。

・ 安全衛生に関する理解: 安全作業のルールや手順を理解し、実践できているかを確認する。

「作業中の安全について、何か気になることはありますか？」

よくわからない。

「安全に作業するために、他に必要なことはありますか？」

よくわからない。

2. 生活について

・生活面での問題：住居、食事、健康状態など、生活面で困っていることはないかを確認する。

「住んでいる場所で困っていることはありませんか？」

買い物も近くでできるし、困っていない。

「三食、食事はしていますか？」

しっかり食べている。

・日本語の習得状況：日本語能力の向上度合い、コミュニケーションで困ることはないかを確認する。

「日本語の勉強は進んでいますか？」

宿題をもらっているのをそれをやっている。でも、わからないことが多い。

「日本語で困ることはありますか？」

いっぱいある。話していることはだいたいわかるようになってきた。でも自分が話していることが日本人にわかっているのか不安。

・日本での生活の満足度：日本での生活を楽しめているか、困っていることはないか、将来の目標などを聞き、彼らの気持ちを理解する。

「日本での生活はどうですか？」

だいたい慣れた。ティーさんがいろいろ教えてくれる。

「休日はどのように過ごしていますか？」

外へ出る時は買い物に行くときぐらいで、ほとんど部屋で過ごしている。

・悩みや不安：仕事、生活、人間関係など、何か悩みや不安を抱えているようであれば、丁寧に聞き取る。

「何か困っていることや不安なことはありますか？」

ティーさんがわからないことは教えてくれるので心配ない。

「私たちにできることはありますか？」

特にない。

3. 今後の目標とサポート

・今後の目標設定：技能実習を通して、どのような技術や知識を習得したいのか、具体的な目標を共有する。

「この実習を通して、どんなことを学びたいですか？」

N3を合格するために勉強しているけど、頭に入らないくて困っている。どういう勉強したらいいかわからない。

・必要なサポート：目標達成のために、会社や先輩社員がどのようなサポートをすれば良いか、彼らの意見を聞き取る。

「仕事や生活で、何か私たちにできることはありますか？」

特にない。

「どんなサポートがあれば、もっと頑張れると思いますか？」

特にない。

※ピョー君へのアドバイス

日本語がわからなくて苦勞しているのはわかっている。

他の人と同じスピードで日本語を覚えようとしなくていい。あきらめずに毎日勉強をしてしていれば必ずもっと話せるようになる。

ピョー君のいいところは、周りの人に気配りや目配りができるところ。それを大切にしてほしい。自信をもってほしい。頑張れ応援している。

半年間の到達目標

1. 業務面

- (1) 基本的な業務の習得
- (2) 日本語能力の向上
- (3) 仕事の安全意識の向上

2. 生活面

- (1) 日本での生活に慣れる
- (2) 地域社会との交流
- (3) 日本文化への理解を深める

1年間の到達目標

1. 業務面

- (1) 応用的な業務の習得
- (2) 業務の効率化
- (3) 後輩指導
- (4) 資格取得

2. 生活面

- (1) 自立した生活
- (2) 地域社会への貢献
- (3) 日本での将来設計

※留意点

□個人差がある

実習生の成長には個人差がある。それぞれ能力や適性、学習意欲などを考慮する。

□コミュニケーションを密に

実習生の悩みや不安を早期に把握し、適切な対応をすることが重要。気軽に相談できる環境づくりを心掛ける。

□目標設定と評価

実習生と目標を設定し、定期的に達成度を評価することで、モチベーション向上に繋げることができるよう留意する。

まとめと今後の展望

送り出し機関

監理団体

受け入れ企業

三位一体